

令和8年度(2026年度)

駒場公園施設改修工事

階 砂 数	場 量	段 撤 計	去 算	工 工 書
-------------	--------	-------------	--------	-------------

網	走	市	役	所
---	---	---	---	---

階

段

工

工事区分(レベル1) 基盤整備工事 工種(レベル2) 敷地造成工					数 量 集 計 表	
種別(レベル3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	数 量	単位	算 式	摘 要
掘削工	掘削 [流用土Ⅰ]	土砂 上記以外(小規模) 標準以外	1.0	m3	土積精算書より	1.0
	掘削 [流用土Ⅱ]	土砂 上記以外(小規模) 標準以外	1.0	m3	土積精算書より	1.0
	土砂等運搬 ※砂場撤去工へ	小規模 BH0.13m3 土砂 DID有り 1.0km以下	1.0	m3	掘削[流用土Ⅱ]数量より	1.0
路床盛土工	路床盛土	2.5m未満	0.4	m3	土積精算書より	0.4
法面整形工	法面整形(切土部)	制約無し 砂質土	2.8	m2	面積計算書より	2.8
	法面整形(盛土部)	締固無し 制約無し 砂質土	0.8	m2	面積計算書より	0.8

土	積	精	算	書
---	---	---	---	---

[illegible]

土量配分表

種 別 (レベル3)	細 目 (レベル4)	補助表現	土 質	備 考	土 量 (m3)	算 出 根 拠	
掘削工	掘削	[流用土Ⅰ]	砂質土		1.0	1.0	$\begin{array}{l} \text{路床盛土} \quad \text{作業不足土} \quad \text{流用率} \quad \text{[流用土Ⅰ]} \\ (\quad 0.4 \quad + \quad 0.5 \quad) / \quad 0.9 = \quad 1.0 \\ \\ \text{切土土量} \quad \text{[流用土Ⅰ]比Ⅱ} \text{※砂場撤去工へ} \\ 2.0 \quad - \quad 1.0 = \quad 1.0 \end{array}$
		[残土Ⅱ]	砂質土		1.0	1.0	
盛土工	路床盛土	[流用土Ⅰ]	土砂	2.5m未満	0.4	0.4	$\begin{array}{l} \text{(床掘り)} \quad \text{流用率} \quad \text{(埋戻し)} \quad \text{作業不足土} \\ 52.9 \quad \times \quad 0.9 \quad - \quad 48.1 = \quad -0.5 \end{array}$
作業土工	(床掘り)	[掘削]	土砂		52.9	52.9	$\begin{array}{l} \text{(床掘り)} \quad \text{流用率} \quad \text{(埋戻し)} \quad \text{作業不足土} \\ 52.9 \quad \times \quad 0.9 \quad - \quad 48.1 = \quad -0.5 \end{array}$
	(埋戻し)	[現地埋戻し]	土砂		48.1	48.1	

(階段工)

砂質土

面積計算書

工種(レベル2)		敷地造成工					細別(レベル4)切土法面整形(1:1.0)										
種別(レベル3)		法面整形工															
左 右 合 計		2.8 (m2)															
左 側									右 側								
測 点	延 長 (m)	巾 (m)					面 積 (m2)	摘 要	測 点	延 長 (m)	巾 (m)					面 積 (m2)	摘 要
		巾1	巾2	巾3	合計	平均					巾1	巾2	巾3	合計	平均		
2.00									2.00								
4.48	2.48								4.48	2.48							
16.66		0.6			0.6				16.66								
21.00	4.34	0.7			0.7	0.65	2.8		21.00	4.34							
小 計							2.8		小 計							0.0	

面積計算書

工種(レベル2)		敷地造成工				盛土法面整形(1:1.5)															
種別(レベル3)		法面整形工				細別(レベル4)															
左 右 合 計		0.8 (m2)																			
左 側								右 側													
測 点	延 長 (m)	巾 (m)					面 積 (m2)	摘 要	測 点	延 長 (m)	巾 (m)					面 積 (m2)	摘 要				
		巾1	巾2	巾3	合計	平均					巾1	巾2	巾3	合計	平均						
2.00									2.00		0.0			0.0							
4.48	2.48								4.48	2.48	0.3			0.3	0.15	0.4					
16.66									16.66		0.2			0.2							
21.00	4.34								21.00	4.34	0.0			0.0	0.10	0.4					
小 計							0.0		小 計							0.8					

作業土工集計表

作業土工名称	規 格	土質	作 業 土 工										作業残土処理		
			床 掘 り					埋 戻 し					残土	不足土	作業残土
			断面積 (m2)	延長・ 箇所	地山量 (m3)	流用率	補正量 (m3)	施工方法	断面積 (m2)	延長・ 箇所	仕上り量 (m3)	種 別	仕上り量 (m3)	仕上り量 (m3)	仕上り量 (m3)
階段工															
基礎ブロック	400×400×800	砂質土	2.07	18.0	37.3	0.9	33.6	小規模(平均施工幅1m未満) 0.28m3級バックホウ	1.92	18.0	34.6	小規模		1.0	-1.0
防止柵工															
基礎ブロック	400×400×400	砂質土	0.60	26.0	15.6	0.9	14.0	小規模(平均施工幅1m未満) 0.28m3級バックホウ	0.52	26.0	13.5	小規模	0.5		0.5
合 計					52.9		47.6				48.1		0.5	1.0	-0.5

※上表の施工方法(代表機労材規格等)は、施工規模等を考慮したものである。

作業残土内訳

床掘り機種区分	作 業 残 土			備 考
	仕上り量(m3)	流用率	地山量(m3)	
標準(平均施工幅2m以上) 0.8m3級バックホウ		1/0.9		
平均施工幅1m以上2m未満 0.45m3級バックホウ		1/0.9		
小規模(平均施工幅1m未満) 0.28m3級バックホウ	-0.5	1/0.9	-0.6	
合 計	-0.5		-0.6	

※作業土工が不足土となる場合は、作業残土は発生しない。※作業残土の数量が僅少な場合は、残土処理工としての数量は計上しない。

工事区分(レベル1) 基盤整備工事 工種(レベル2) 法面工					数 量 集 計 表	
種別(レベル3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	数 量	単 位	算 式	摘 要
植生工	張芝	100n2未満 補正無し	79.5	m2	土工、舗装工 法面整形工数量より	(切土部) (盛土部) $2.8 + 0.8 = 3.6$
					階段工 階段工標準断面図より	平均法長 延長 $4.1 \times 12.18 = 49.9$
					防止柵工 階段工標準断面図より	1箇所当り面積 箇所数 $1.0 \times 26.0 = 26.0$
						合 計 = 79.5

工事区分(レベル1) 基盤整備工事 工種(レベル2) 構造物撤去工					数 量 集 計 表	
種別(レベル3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	数 量	単位	算 式	摘 要
防護柵撤去工	転落防止柵撤去	土中建込 2m	47.0	m	撤去工平面図より $\overset{(L側)}{3.00} + \overset{(R側)}{44.00} = 47.00$	
道路付属物撤去工	木製階段撤去	参考歩掛(設置見積×0.5)	1.0	式	撤去工平面図より	1.00
	基礎ブロック撤去	100kg超をえ200kg以下 400×400×400	18.0	個	階段撤去詳細図より $V=0.06m^3/個, W=140kg/個$	18.00
構造物取壊し工	コンクリート構造物取壊し	無筋構造物 機械施工 補正無し 対策必要	3.9	m3	基礎ブロック撤去数量より $2.34 + 1.56 = 3.90$	
	舗装版切断	アスファルト舗装版 15cm以下	1.5	m	撤去工平面図より $t=3cm$	1.52
	舗装版破碎	アスファルト舗装版 障害無し 必要 15cm以下	7.0	m2	撤去工平面図より $t=3cm$	7.00
運搬処理工	殻運搬	コンクリート殻(無筋) 機械積込 DID有り 5.7km以下	3.9	m3	コンクリート構造物取壊し数量より	3.90
	殻運搬	舗装版破碎 機械積込(対策必要) DID有り 12.0km以下	0.2	m3	舗装版破碎数量より $7.00 \times \overset{舗装版厚}{0.03} = 0.21$	
	殻処分	コンクリート殻(無筋)	3.9	m3	コンクリート構造物取壊し数量より	3.90
	殻処分	アスファルト殻	0.2	m3	舗装版破碎数量より $7.00 \times \overset{舗装版厚}{0.03} = 0.21$	
	現場発生品運搬	トラック4～4.5t積 DID有り 3.0km以下 木材	2.12	t	木材の材積より $2.65 \times \overset{単位体積質量}{0.80} = 2.12$	
	処分費	木材	2.1	t	現場発生品運搬数量より	2.12
		汚泥	0.001	m3	$V=0.023 \times t \times L$ $0.023 \times \overset{舗装版厚}{0.03} \times \overset{切断延長}{1.52} = 0.001$	(概数)

(基礎ブロック撤去数量)

[illegible]

木材の材積

木製階段撤去

支柱	長さ(mm)	径φ(mm)	材積(m3)	備考
L1	1100	145	0.018	
L2	1450	145	0.024	
L3	1950	145	0.032	
L4	2250	145	0.037	
L5	1400	145	0.023	
L6	1450	145	0.024	
L7	1450	145	0.024	
L8	1950	145	0.032	
L9	1250	145	0.021	
R1	1100	145	0.018	
R2	1450	145	0.024	
R3	1950	145	0.032	
R4	2250	145	0.037	
R5	1400	145	0.023	
R6	1450	145	0.024	
R7	1450	145	0.024	
R8	1950	145	0.032	
R9	1250	145	0.021	
小計			0.470	

木製階段撤去

角材	寸法(mm)			本数	材積(m3)	備考
A	150	150	1800	2	0.081	
B	150	150	1800	2	0.081	
C	150	150	2000	2	0.090	
D	150	150	1800	2	0.081	
E	55	140	1290	60	0.596	
F	50	175	1290	17	0.192	
小計					1.121	

木製階段撤去

部材	長さ(mm)	径φ(mm)	本数	材積(m3)	備考
a	5250	95	4	0.149	
b	2150	95	4	0.061	
c	5250	95	4	0.149	
d	1150	95	4	0.033	
e	5100	100	4	0.160	
f	5000	100	4	0.157	
g	1800	110	12	0.205	
h	330	95	60	0.140	
小計				1.054	
合計				2.65	

工事区分(レベル1) 施設整備工事		工種(レベル2) 園路広場整備工		数 量 集 計 表		
種別(レベル3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	数 量	単 位	算 式	摘 要
アスファルト舗装工	凍上抑制層(歩道部)	再生骨材0～80mm級 t=17cm 1層施工	6.6	m2	不陸整正数量より	6.6
	下層路盤(歩道部)	再生骨材0～40mm級 t=10cm 1層施工	6.6	m2	不陸整正数量より	6.6
	表層(歩道部)	再生細粒度アスコン t=3cm 1.4m未満※2 プライムコート	6.8	m2	面積計算書より	6.8
					※2：狭隘部のため平均幅員1.4m以上の機械施工が困難。	
階段工	擬木階段	プラ擬木 参考歩掛(見積)	1.0	式	階段工平面図より	1.0
	基礎ブロック	200kgを超え500kg以下	18.0	個	階段工詳細図より	V=0.13m3/個, W=306kg/個 18.0
	基礎ブロック(材料費)	400×400×800	18.0	個	同上	W=306kg/個 18.0
	(床掘り)	土砂 上記以外(小規模)	37.3	(m3)	当り数量調書より	2.07 × 18.0 = 37.3 ①
	(埋戻し)	上記以外(小規模) 土砂	34.6	(m3)	当り数量調書より	1.92 × 18.0 = 34.6 ①
	(基面整正)				※床掘が「上記以外(小規模)」の場合は、基面整正を計上する必要はない。	
	基礎碎石	再生骨材0～40mm級 t=10cm	4.5	m2	当り数量調書より	0.25 × 18.0 = 4.5

面積計算書

工種(レベル2)		園路広場整備工		細別(レベル4)		不陸整正					
種別(レベル3)		舗装準備工		規格(レベル5)							
左 右 合 計		6.6 (m2)									
左 側						右 側					
測 点	延 長	補正延長	施工幅	施工面積	摘 要	測 点	延 長	補正延長	施工幅	施工面積	摘 要
16.66						16.66					
	4.34		0.75	3.3			4.34		0.75	3.3	
21.00						21.00					
小 計				3.3		小 計				3.3	

面積計算書

工種(レベル2)		園路広場整備工		細別(レベル4)		表層(歩道部)					
種別(レベル3)		アスファルト舗装工		規格(レベル5)		再生細粒度アスコン, t=3cm					
左 右 合 計		6.8 (m2)									
左 側						右 側					
測 点	延 長	補正延長	施工幅	施工面積	摘 要	測 点	延 長	補正延長	施工幅	施工面積	摘 要
16.66						16.66					
	4.34		0.75	3.3			4.34		0.75	3.3	
21.00						21.00					
	0.10		0.75	0.1			0.10		0.75	0.1	
21.15						21.15					
小 計				3.4		小 計				3.4	

1箇所当り 数量調書

[illegible]

工事区分(レベル1) 施設整備工事 工種(レベル2) 防護柵工					数 量 集 計 表	
種別(レベル3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	数 量	単位	算 式	摘 要
防止柵工	転落(横断)防止柵	プレキャストコンクリート	47.1	m	<div><div>(L側)</div><div>階段工平面図より</div><div>4.00</div><div>+</div><div>(R側)</div><div>43.12</div><div>=</div><div>47.12</div></div>	
		ブロック建込 2m プラ擬木				
	基礎ブロック	100kg超をえ200kg以下	26.0	個	<div><div>階段工平面図, 階段工詳細図より</div><div>V=0.06m3/個, W=141kg/個</div></div>	
					<div><div>(L側)</div><div>3.0</div><div>+</div><div>(R側)</div><div>23.0</div><div>=</div><div>26.0</div></div>	
	基礎ブロック(材料費)	400×400×400	26.0	個	<div><div>同上</div><div>W=141kg/個</div><div>26.0</div></div>	
	(床掘り)	土砂 上記以外(小規模)	15.6	(m3)	<div><div>当り数量調書より</div><div>0.60 × 26.0 = 15.6</div></div>	②
	(埋戻し)	上記以外(小規模) 土砂	13.5	(m3)	<div><div>当り数量調書より</div><div>0.52 × 26.0 = 13.5</div></div>	②
	(基面整正)				※床掘が「上記以外(小規模)」の場合は、基面整正を計上する必要はない。	
	基礎碎石	再生骨材0～40mm級 t=10cm	6.5	m2	<div><div>当り数量調書より</div><div>0.25 × 26.0 = 6.5</div></div>	

1箇所当り 数量調書

[illegible]

賃料期間 算出調書

賃料期間の算定及び補正日数算出

刊行物単価適用月： 2025年10月

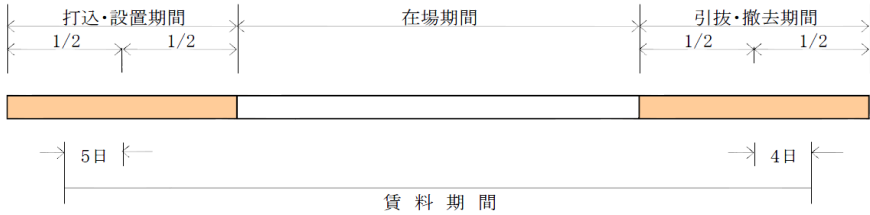
名 称	規 格	単位	期間(供用日数)		賃料期間の算定		上段：期間適用賃料 下段：補正日数(月数)								補正 適用の 有無	備 考
			設置 撤去	在場	算 定 式	日数 (月数)	90	180	270	360	540	720	1080			
敷鉄板	厚さ22mm 幅1524mm 長さ6096mm	日・枚	1 日	51日	1 / 2 + 5 + 51	61日	92.0円	92.0円	92.0円	92.0円	92.0円	92.0円			賃料 補正日数	
			1 日		1 / 2 + 4 = 61.0		90 日	180 日	270 日	360 日	540 日					

※ 補正日数(月数)は、期間適用賃料の上限となる日数(月数)を表示している。

1. 賃料期間の算定

土木工事

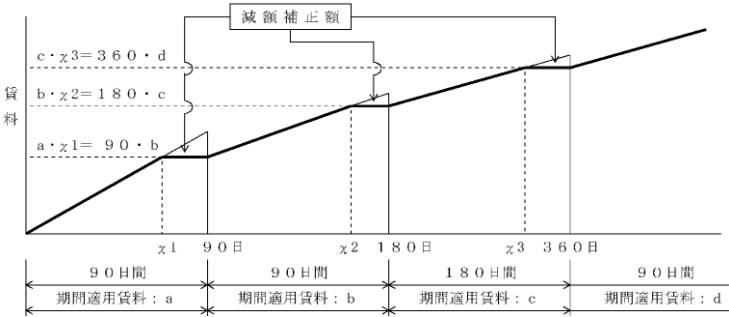
賃料期間(日)=(打込期間×1/2)+(在場期間)+(引抜期間×1/2)+5日+4日



- (注) 1. 仮設用H杭についても同様の扱いにする。
2. 土留め、締切り、路面覆工等に使われる切梁腹起し覆工板及び工事用道路等に使われる敷鉄板については打込(引抜)期間を設置(撤去)期間と読みかえ同様の扱いとする。
3. 在場期間・打込期間・引抜期間は、各工種の積上日数から雨休率により補正した期間である。
4. 5日は材料の搬入期間、4日は材料の搬出期間である。
5. 現地条件及び現場制約等により積上日数によることが困難の場合は、別途考慮する。

2. 適用区分による賃料の補正

① 補正額の積算方法は、供用日数が斜線部内にあるときは、補正日数により積算すること。



② 補正日数(χ1, χ2, χ3)の算出

$$\begin{aligned}\chi 1 &= (90 \cdot b) / a \\ \chi 2 &= (180 \cdot c) / b \\ \chi 3 &= (360 \cdot d) / c\end{aligned}$$

③ その他

賃料の適用区分が1ヵ月単位の場合は、30日/月として積算すること。

【出典：土木工事積算基準 P. 仮設-7～8】

工事区分(レベル1) 施設整備工事		工種(レベル2) 共通仮設費(積上分)	数 量 集 計 表			
-------------------	--	---------------------	-----------	--	--	--

種別(レベル3)	細別(レベル4)	規格(レベル5)	数 量	単 位	算 式	摘 要
----------	----------	----------	-----	-----	-----	-----

[illegible]

面積計算書

工種(レベル2)		共通仮設費(積上分)						すき取り面積									
種別(レベル3)		準備費															
切盛合計		176.5 (m2)															
すき取り(切土)									すき取り(盛土)								
測点	延長 (m)	巾(m)					面積 (m2)	摘要	測点	延長 (m)	巾(m)					面積 (m2)	摘要
		巾1	巾2	巾3	合計	平均					巾1	巾2	巾3	合計	平均		
2.00									2.00		1.8			1.8			
4.48	2.48	0.0			0.0				4.48	2.48	3.1			3.1	2.45	6.1	
10.00	5.52	5.9			5.9	2.95	16.3		10.00	5.52	0.0			0.0	1.55	8.6	
16.66	6.66	2.2			2.2	4.05	27.0		16.66	6.66	1.7			1.7	0.85	5.7	
21.00	4.34	2.0	2.1		4.1	3.15	13.7		21.00	4.34	0.0			0.0	0.85	3.7	
30.00	9.00	2.2			2.2	3.15	28.4		30.00	9.00							
40.00	10.00	2.2			2.2	2.20	22.0		40.00	10.00							
46.45	6.45	2.2			2.2	2.20	14.2		46.45	6.45							
60.45	14.00	2.2			2.2	2.20	30.8		60.45	14.00							
小計							152.4		小計						24.1		

砂

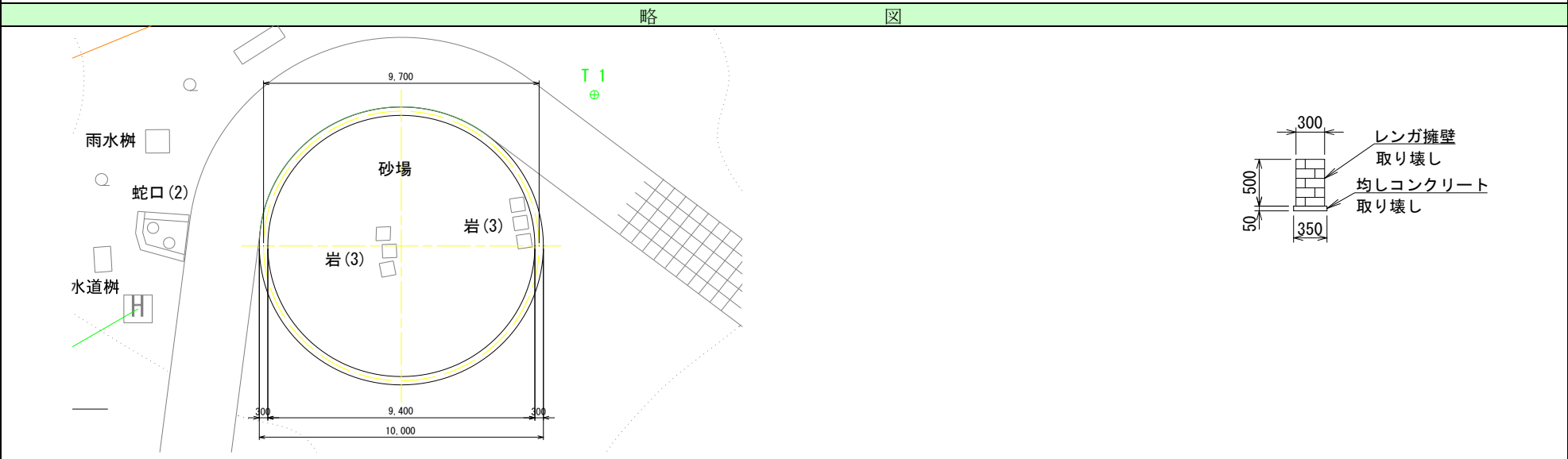
場

撤

去

工

工 種 (レベル2)	構造物撤去工	細 目 (レベル4)	擁壁取壊し
種 別 (レベル3)	構造物取壊し工	規 格 (レベル5)	レンガ擁壁



名 称	区 分	計算式	単位	数 量	備 考
コンクリート取壊し	無筋	$(0.30 \times 0.50 + 0.35 \times 0.05) \times 9.70 \times \pi$	m3	5.1	
殻運搬	レンガ廃材 機械積込 D=8.6km	$0.30 \times 0.50 \times 9.70 \times \pi$	m3	4.6	
殻運搬	無筋Co 機械積込 D=4.2km	$0.35 \times 0.05 \times 9.70 \times \pi$	m3	0.5	
殻処分	レンガ廃材 がれき類	4.6×1.90	t	8.7	
殻処分	無筋Co	0.5×2.35	t	1.2	
景石撤去・移設	W=1.0t/個	6.0	個	6.0	※撤去工
掘削	小規模	$4.70 \times 4.70 \times \pi \times 0.55$	m3	38.1	
埋戻し	小規模	$5.00 \times 5.00 \times \pi \times 0.55$	m3	43.2	
不足土		$43.20 - (38.10 \times 0.90) - 1$ (階段残土)	m3	7.9	